

伊庭孝 音楽評論家、劇作家。明治二十年十一月一日東京生れ、昭和十一年二月二十五日没（八七—九三）。木家伊庭想太郎の養子。同志社大學中退。大正元年上山草人等と近代劇協會を創設、五年高木徳子と歌舞劇協會を興し、翌年音楽劇「女軍出征」を浅草・常盤座で八演、浅草オペラの草分けとなる。後年著述の専心。

譯書、ホフマンスターニ作「窓のこゝろの女」（譯、大正二年十一月二十五日現代社「近代脚本叢書」）、「音楽讀本」（大正五年十一月一日文化生活研究會「音楽文化叢書」）、「明日の音楽」（昭和一年一月十八日文化生活研究會「音楽趣味叢書」）、「歌劇大通」（昭和六年一月一日四六書院）、「婦人公論大學・演劇音楽篇」（合著、島中雄作編、昭和六年十一月十一日中央六論社）、リーマン著「音楽美學」（譯、昭和九年一月一日音楽世界社「音楽世界叢書」）、「名作歌劇解説」（昭和十年六月二十五日春秋社）、「音楽讀本」（昭和十二年二月二十五日昭和書院）等。

